

## 飛驒山脈ジオパーク構想ジオサイト(第22章)

### 銚子の滝

ストレス発散、リラックス効果など、マイナスイオンを浴びるとよいといわれます。気軽にマイナスイオンを浴びるには、「銚子の滝」がおすすめです。高山市丹生川町旗鉾の国道158号から、舗装してある林道に入り1kmほどです。5台ほど止めることのできる駐車場から歩いて5分程度で、滝壺まで行けます。

落差約25メートルのこの滝は、銚子の形に似ていることから名付けられました。1986(昭和61)年に岐阜県の名水50選に選ばれ、夏でも豊富な水量で流れています。また、秋の紅葉など、四季折々に変化する溪谷の美しさが楽しめます。

滝の壁の岩石の多くは、チャートです。チャートは、堆積岩の一種で、主成分は二酸化ケイ素(石英、水晶の成分)です。放散虫・海綿動物などの動物の殻や骨格片の微化石が海底に堆積してできた岩石と考えられています。

古生代石炭紀から中生代白亜紀最前期(約3億6千万年~1億5千万年前)にかけて堆積した岩石です。美濃帯という地質帯に属し、侵食されると険しい地形を作ります。そのチャートの地層の堆積面が侵食され、険しい所が滝に変わったのではないのでしょうか。



(飛驒地学研究会 中口 清浩)

問合 飛驒山脈ジオパーク推進協議会

☎ 0578-84-0038